

災害のないまちづくりのために



千曲市総合防災訓練

昨年を振り返りますと、元日に震度 7 を記録した「令和 6 年能登半島地震」をはじめ、8 月には宮崎県日向灘を震源とした震度 6 弱の地震に伴う「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の発表、そして、9 月には復興半ばの能登半島地震による被災地に豪雨が襲うなど、未曾有の災害が全国各地で発生した一年でありました。

このような大規模地震や、激甚化する風水害などの自然災害の脅威に対して、地域住民の安心安全への関心は一段と高まりを見せ、消防に寄せられる期待も大きくなっており、しかし大規模災害時の『公助』の支援には限界があり、地域住民による『自助・共助』が必要不可欠であるため、自主的な防災活動を視野に入れた災害に強い地域づくりにも力を入れる必要があります。

さて、当消防本部管内における令和 6 年の火災件数は 43 件で、前年と比較して 13 件の大幅な増加となっており、3 名の方が火災で亡くなり、14 名の方が負傷しております。

また、4 月に千曲市桑原で発生した山林火災は、大規模な林野火災となり約 1.1 ha を焼損しました。これらの火災原因の大半が火の取扱いの不注意や不始末による失火であるため、地域住民へのより一層の火気管理の徹底と、防火意識の高揚を図る取り組みが必要であると言えます。

一方、救急件数につきましても全国的に救急需要が高まっており、当消防本部管内においても令和 6 年の救急出動件数は 4,360 件で前年と比較して 118 件の増加となり、過去最多を記録しました。その要因としては高齢化の進展による救急需要の増加が考えられ、さらに今後は新たな感染症や温暖化による寒暖差の激化などを要因とする救急需要の増加も懸念されております。

このような災害状況や社会情勢の変化を的確にとらえ、令和 7 年度は次の事項を重点に掲げ、防災に関する推進を図ります。

1 防火防災に対する意識の高揚

(1) 火災予防の徹底

ア 住宅防火対策の推進

- (ア) 住宅用火災警報器の設置義務化から 10 年以上経過したことを踏まえた、経年劣化した機器の交換等の適切な維持管理及び未設置住宅への設置の徹底を推進する広報
- (イ) 近年の加熱式たばこ等の普及等により減少傾向にあるたばこ火災に対する、引き続きの注意喚起
- (ウ) 消防団や婦人消防隊および自主防災組織等と連携した、地域の実情に応じた広報及び普及啓発活動の実施
- (エ) 災害時における高齢者等の要配慮者の安全対策に重点を置いた死者発生防止対策

イ 放火火災防止対策の推進

放火火災防止に対する認識の向上及びガソリン等を用いた放火を未然に防ぐための対策として容器詰め替え販売における本人確認等の徹底

ウ たき火の際の安全確認と消火の準備及び消火の徹底

エ 林野火災予防対策

乾燥時及び強風時の屋外放送等の注意喚起及び車両等による広報及び巡回指導の実施による、林野周辺住民及び入山者等への防火意識の高揚

(2) 自然災害に対する対応と対策

- ア 地震や風水害等に対する防災に関する知識の普及啓発及び地域における防災訓練の実施
- イ 住宅密集地を含む災害危険箇所等の把握及び関係機関との連携強化
- ウ 地域特性に配慮した、住民主導型の警戒避難体制の構築

(3) 危険物災害の防止

- ア 家庭や職場における危険物やガスなどの取扱いに対する安全意識の高揚
- イ 震災時等の転倒防止と漏えい事故防止に対する指導

2 防火防災に関する指導及び啓発

(1) 防火座談会、防災講習会等の開催

(2) 各種災害を想定した防災訓練の実施

(3) 住民、事業所等各自主防災組織間の協調、連携を図る啓発行事の実施

(4) 製品火災発生防止に向けた取組の推進

(5) 多数の者が集合する催しの主催者に対する火災予防指導及び火気器具を使用する屋台や露店に対するガソリン等の貯蔵取扱いに対する指導

3 災害事故発生時の対応についての普及啓発

(1) 初期消火要領

(2) 正しい 119 番通報要領

(3) 安全かつ正しい避難要領

(4) 避難行動要支援者への対応

(5) 応急手当の知識と技術

(6) AED の設置場所に関する情報の収集及び住民に対する情報提供

4 その他

(1) 老朽化消火器による破裂事故等防止の注意喚起

(2) 廃消火器リサイクルシステムの情報提供

(3) 消火器、住宅用火災警報器等の悪質な訪問販売・詐欺等における被害防止

(4) 救急車の適正な利用

千曲坂城消防組合防災推進実施要綱

平成15年9月1日
訓令第13号

(目的)

第1 この要綱は、住民が消防防災行政への理解と意識を高め、火災を始めさまざまな災害の予防及び被害の軽減等を自らの課題として、積極的に取組む地域づくりを推進するために、消防本部及び消防団等が連携し日常的な防災行動を住民に徹底し、災害に強い安心できる地域づくりに貢献することを目的とする。

(防災推進員)

第2 防災行動力等の定着を図るため、地区代表者、消防団分団長、婦人消防隊長（部長）及び消防職員からなる防災推進員を設ける。

2 地区代表者は、区長又は自治会長とする。

3 消防職員の地区担当は、消防団の分団を単位に管轄署長が編成する。

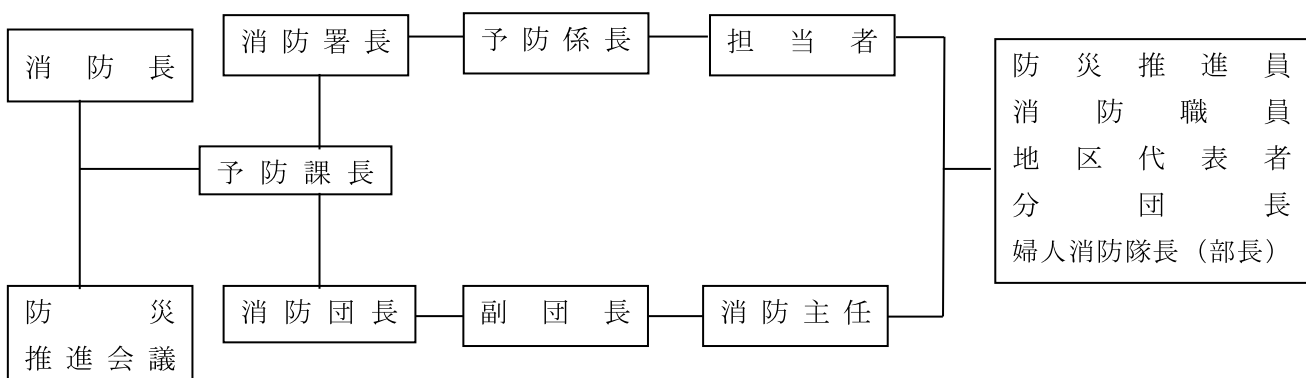
(防災推進員の任務)

第3 防災推進員は次のことを実施する。

- (1) 火災予防及び発生時の措置に関する指導
- (2) 地震、風水害等自然災害に対する措置に関する指導
- (3) 救急、緊急時の応急処置に関する指導
- (4) 消防関係訓練の指導及び講習会等の開催
- (5) その他地区防災に関すること

(組織及び会議)

第4 組織は次のとおりとする



2 会議は、防災推進会議とし、消防団幹部等との合同会議をこれにあてるとともに、推進目標を決定する。

3 この事務の所管は、消防署予防係とする。ただし、必要に応じて予防課は業務の補完をする。

(その他)

第5 防災推進員として出向する職員は、地区担当及び申請内容等を考慮して署長が指名した者とする。

2 防災推進員は、事案が発生したときは防災推進連絡簿（別記様式）に必要事項を記入し消防署予防係へ提出すること。また、事案が終了したときも必要事項を記入し、提出すること。

3 防災推進員は、事案を円滑に推進するために、地区の事情に応じ関係機関等に協力を依頼することができる。

4 関係市町が行う生涯学習関係事業等への出向は、この要綱に準ずる。

附 則

この要綱は、平成15年9月1日から施行する。

附 則（平成16年4月1日訓令第1号）

この訓令は、平成16年4月1日から施行する

附 則（令和3年5月1日訓令第1号）

この訓令は、令和3年5月1日から施行する

■消防組合関係者

消防組合役員名簿

管理者・副管理者

職 名	氏 名	現 職
管 理 者	小 川 修 一	千 曲 市 長
副 管 理 者	山 村 弘	坂 城 町 長
副 管 理 者	大 内 保 彦	千曲市副市長

組合議会議員

職 名	氏 名	住 所
議 長	和 田 英 幸	千 曲 市
副 議 長	朝 倉 国 勝	坂 城 町
議 員	川 嶋 敬 信	千 曲 市
議 員	北 川 原 晃	千 曲 市
議 員	坂 口 吉 一	千 曲 市
議 員	滝 沢 清 人	千 曲 市
議 員	田 中 秀 樹	千 曲 市
議 員	中 村 眞 一	千 曲 市
議 員	中 村 恒 彦	千 曲 市
議 員	林 慶 太 郎	千 曲 市
議 員	塚 田 舞	坂 城 町
議 員	宮 入 健 誠	坂 城 町

監査委員

職 名	氏 名	住 所
識 見 者	春 日 一 幸	坂 城 町
議 会 選 出	滝 沢 清 人	千 曲 市

歴代管理者

氏 名	在職期間	職 別
宮 坂 博 敏	自平成 15 年 10 月 5 日 至平成 19 年 10 月 4 日	千 曲 市 長
近 藤 清 一 郎	自平成 19 年 10 月 5 日 至平成 24 年 9 月 27 日	千 曲 市 長
岡 田 昭 雄	自平成 24 年 11 月 11 日 至令和 2 年 11 月 10 日	千 曲 市 長
小 川 修 一	自令和 2 年 11 月 11 日 ～ 現 在	千 曲 市 長

歴代副管理者

氏 名	在職期間	職 別
中 沢 一	自平成 11 年 5 月 1 日 至平成 23 年 4 月 30 日	坂 城 町 長
山 村 弘	自平成 23 年 5 月 1 日 ～ 現 在	坂 城 町 長
近 藤 清 一 郎	自平成 15 年 11 月 28 日 至平成 19 年 7 月 9 日	千 曲 市 助 役 千曲市副市長
瀧 澤 嘉 市	自平成 19 年 11 月 1 日 至平成 25 年 1 月 31 日	千曲市副市長
山 本 高 明	自平成 25 年 2 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日	千曲市副市長
内 田 雅 啓	自平成 31 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 30 日	千曲市副市長
大 内 保 彦	自令和 3 年 7 月 7 日 ～ 現 在	千曲市副市長

歴代組合議会議長

氏 名	在職期間	住 所
若 林 勝 朗	自平成 15 年 11 月 5 日 至平成 16 年 6 月 15 日	千 曲 市
戸 谷 有 次 郎	自平成 16 年 8 月 23 日 至平成 18 年 7 月 24 日	千 曲 市
和 田 重 昭	自平成 18 年 8 月 22 日 至平成 20 年 7 月 31 日	千 曲 市
西 澤 今 朝 人	自平成 20 年 8 月 22 日 至平成 22 年 4 月 27 日	千 曲 市
中 村 直 行	自平成 22 年 8 月 24 日 至平成 24 年 7 月 24 日	千 曲 市
中 沢 政 好	自平成 24 年 8 月 23 日 至平成 26 年 7 月 23 日	千 曲 市
小 山 嘉 一	自平成 26 年 8 月 18 日 至平成 28 年 7 月 24 日	千 曲 市
原 利 夫	自平成 28 年 8 月 23 日 至平成 30 年 7 月 31 日	千 曲 市
倉 島 さ や か	自平成 30 年 8 月 28 日 至令和 2 年 7 月 24 日	千 曲 市
袖 山 廣 雄	自令和 2 年 8 月 26 日 至令和 4 年 8 月 1 日	千 曲 市
飯 島 孝	自令和 4 年 8 月 23 日 至令和 6 年 7 月 24 日	千 曲 市
和 田 英 幸	自令和 6 年 8 月 21 日 ～ 現 在	千 曲 市

歴代組合議会副議長

氏 名	在職期間	住 所
宮 島 祐 夫	自平成 15 年 5 月 29 日 至平成 18 年 8 月 22 日	坂 城 町
青 木 崇	自平成 18 年 8 月 22 日 至平成 20 年 7 月 31 日	千 曲 市
春 日 武	自平成 20 年 8 月 22 日 至平成 21 年 5 月 19 日	坂 城 町
大 森 茂 彦	自平成 21 年 7 月 7 日 至平成 23 年 5 月 17 日	坂 城 町
塩 野 入 猛	自平成 23 年 7 月 6 日 至平成 25 年 11 月 11 日	坂 城 町
大 森 茂 彦	自平成 25 年 11 月 11 日 至令和 元 年 7 月 10 日	坂 城 町
朝 倉 国 勝	自令和 元 年 7 月 10 日 ～ 現 在	坂 城 町

歴代監査員

氏 名	在職期間	区 分	住 所
鈴 木 秀 典	自平成 13 年 2 月 14 日 至平成 21 年 2 月 13 日	識 見 者	坂 城 町
市 川 喜 保	自平成 15 年 11 月 5 日 至平成 16 年 6 月 15 日	議 会 選 出	千 曲 市
金 沢 利	自平成 16 年 8 月 23 日 至平成 20 年 7 月 31 日	議 会 選 出	千 曲 市
中 沢 政 好	自平成 20 年 8 月 22 日 至平成 22 年 7 月 31 日	議 会 選 出	千 曲 市
中 澤 守	自平成 21 年 2 月 14 日 至平成 29 年 2 月 9 日	識 見 者	坂 城 町
内 宇 田 和 美	自平成 22 年 8 月 24 日 至平成 24 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
和 田 重 昭	自平成 24 年 8 月 23 日 至平成 26 年 7 月 23 日	議 会 選 出	千 曲 市
荻 原 光 太 郎	自平成 26 年 8 月 18 日 至平成 28 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
小 山 嘉 一	自平成 28 年 8 月 23 日 至令和 2 年 7 月 24 日	議 会 選 出	千 曲 市
塚 田 明	自平成 29 年 2 月 10 日 至令和 7 年 2 月 23 日	識 見 者	坂 城 町
飯 島 孝	自令和 2 年 8 月 26 日 至令和 4 年 8 月 22 日	議 会 選 出	千 曲 市
宮 下 繁 明	自令和 4 年 8 月 23 日 至令和 6 年 8 月 22 日	議 会 選 出	千 曲 市
滝 沢 清 人	自令和 6 年 8 月 21 日 ～ 現 在	議 会 選 出	千 曲 市
春 日 一 幸	自令和 7 年 2 月 24 日 ～ 現 在	識 見 者	坂 城 町

歴代消防長

歴 代	氏 名	在職期間	歴 代	氏 名	在職期間
初代	北 澤 親 夫	自平成 15 年 9 月 1 日 至平成 16 年 3 月 31 日	9 代	保 坂 正 男	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日
2 代	小 岩 一 雄	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日	10 代	望 月 則 男	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日
3 代	近 藤 善 正	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日	11 代	柳 町 幸 夫	自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日
4 代	朝 倉 和 雄	自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日	12 代	横 林 伸 一	自平成 31 年 4 月 1 日 至令和 4 年 3 月 31 日
5 代	北 澤 宏	自平成 20 年 4 月 1 日 至平成 21 年 3 月 31 日	13 代	高 野 敏 治	自令和 4 年 4 月 1 日 至令和 5 年 3 月 31 日
6 代	森 保 美	自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日	14 代	荒 井 精 一	自令和 5 年 4 月 1 日 至令和 6 年 3 月 31 日
7 代	中 村 正 行	自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日	15 代	中 村 賢 吾	自令和 6 年 4 月 1 日 至令和 7 年 3 月 31 日
8 代	山 崎 一	自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	16 代	田 中 英 春	自令和 7 年 4 月 1 日 ～ 現 在

歴代署長

◆戸倉上山田消防署

歴 代	氏 名	在職期間	歴 代	氏 名	在職期間
初代	森 保 美	自平成 15 年 9 月 1 日 至平成 16 年 3 月 31 日	11 代	古 川 正	自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 28 年 3 月 31 日
2 代	近 藤 善 正	自平成 16 年 4 月 1 日 至平成 17 年 3 月 31 日	12 代	丸 山 敏 夫	自平成 28 年 4 月 1 日 至平成 29 年 3 月 31 日
3 代	朝 倉 和 雄	自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日	13 代	小 出 正 幸	自平成 29 年 4 月 1 日 至平成 30 年 3 月 31 日
4 代	中 村 正 光	自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日	14 代	横 林 伸 一	自平成 30 年 4 月 1 日 至平成 31 年 3 月 31 日
5 代	中 村 正 行	自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 21 年 3 月 31 日	15 代	高 野 敏 治	自平成 31 年 4 月 1 日 至令和 2 年 3 月 31 日
6 代	山 崎 一	自平成 21 年 4 月 1 日 至平成 22 年 3 月 31 日	16 代	西 澤 保 徳	自令和 2 年 4 月 1 日 至令和 3 年 3 月 31 日
7 代	富 山 勝 幸	自平成 22 年 4 月 1 日 至平成 23 年 3 月 31 日	17 代	荒 井 精 一	自令和 3 年 4 月 1 日 至令和 4 年 3 月 31 日
8 代	山 岸 今 朝 人	自平成 23 年 4 月 1 日 至平成 24 年 3 月 31 日	18 代	西 澤 保 徳	自令和 4 年 4 月 1 日 至令和 6 年 3 月 31 日
9 代	藤 岡 雅 人	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 25 年 3 月 31 日	19 代	塚 田 優	自令和 6 年 4 月 1 日 ～ 現 在
10 代	丸 山 敏 夫	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 26 年 3 月 31 日			

歴代署長

◆更埴消防署

歴代	氏名	在職期間	歴代	氏名	在職期間
初代	近藤善正	自平成 15 年 9 月 1 日	10代	高地君雄	自平成 28 年 4 月 1 日
		至平成 16 年 3 月 31 日			至平成 29 年 3 月 31 日
2代	中村 潔	自平成 16 年 4 月 1 日	11代	飯島豊文	自平成 29 年 4 月 1 日
		至平成 18 年 3 月 31 日			至平成 30 年 3 月 31 日
3代	北澤 宏	自平成 18 年 4 月 1 日	12代	高野敏治	自平成 30 年 4 月 1 日
		至平成 20 年 3 月 31 日			至平成 31 年 3 月 31 日
4代	中村正光	自平成 20 年 4 月 1 日	13代	宮尾賢一	自平成 31 年 4 月 1 日
		至平成 21 年 3 月 31 日			至令和 3 年 3 月 31 日
5代	高松義光	自平成 21 年 4 月 1 日	14代	西澤保徳	自令和 3 年 4 月 1 日
		至平成 22 年 3 月 31 日			至令和 4 年 3 月 31 日
6代	山崎 一	自平成 22 年 4 月 1 日	15代	山田善彦	自令和 4 年 4 月 1 日
		至平成 23 年 3 月 31 日			至令和 5 年 3 月 31 日
7代	藤岡雅人	自平成 23 年 4 月 1 日	16代	中村英章	自令和 5 年 4 月 1 日
		至平成 24 年 3 月 31 日			至令和 7 年 3 月 31 日
8代	宮城欣司	自平成 24 年 4 月 1 日	17代	合津仁司	自令和 7 年 4 月 1 日
		至平成 25 年 3 月 31 日			～ 現在
9代	久保広康	自平成 25 年 4 月 1 日			
		至平成 28 年 3 月 31 日			

◆坂城消防署

歴代	氏名	在職期間	歴代	氏名	在職期間
初代	飛田 勉	自平成 15 年 9 月 1 日	10代	古川 正	自平成 28 年 4 月 1 日
		至平成 16 年 3 月 31 日			至平成 29 年 3 月 31 日
2代	北澤 宏	自平成 16 年 4 月 1 日	11代	荒井精一	自平成 29 年 4 月 1 日
		至平成 18 年 3 月 31 日			至平成 31 年 3 月 31 日
3代	中村 潔	自平成 18 年 4 月 1 日	12代	中村賢吾	自平成 31 年 4 月 1 日
		至平成 19 年 3 月 31 日			至令和 2 年 3 月 31 日
4代	高松義光	自平成 19 年 4 月 1 日	13代	山田善彦	自令和 2 年 4 月 1 日
		至平成 21 年 3 月 31 日			至令和 4 年 3 月 31 日
5代	山岸 今朝人	自平成 21 年 4 月 1 日	14代	田中英春	自令和 4 年 4 月 1 日
		至平成 22 年 3 月 31 日			至令和 5 年 3 月 31 日
6代	丸山隆夫	自平成 22 年 4 月 1 日	15代	北澤克久	自令和 5 年 4 月 1 日
		至平成 24 年 3 月 31 日			至令和 6 年 3 月 31 日
7代	久保広康	自平成 24 年 4 月 1 日	16代	合津仁司	自令和 6 年 4 月 1 日
		至平成 25 年 3 月 31 日			至令和 7 年 3 月 31 日
8代	宮城欣司	自平成 25 年 4 月 1 日	17代	中村洋太	自令和 7 年 4 月 1 日
		至平成 26 年 3 月 31 日			～ 現在
9代	高地君雄	自平成 26 年 4 月 1 日			
		至平成 28 年 3 月 31 日			

◆千曲市

氏 名	在職期間
荒 井 治 和	自平成 15 年 9 月 1 日
	至平成 18 年 4 月 1 日
岡 田 忠 行	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日
渡 島 港 一	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
塚 田 昌 平	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
亘 健 二	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日
坂 口 徹 雄	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
臼 井 満 芳	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
武 井 郁 郎	自平成 30 年 4 月 2 日
	至令和 4 年 4 月 1 日
岡 田 正	自令和 4 年 4 月 2 日
	至令和 6 年 4 月 1 日
瀬 在 順 一	自令和 6 年 4 月 2 日
	～ 現 在

◆坂城町

氏 名	在職期間
富 山 泰 行	自平成 14 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日
塩 野 入 博 幸	自平成 16 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日
片 山 吉 一	自平成 18 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日
高 橋 進 平	自平成 20 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日
塩 野 今 朝 文	自平成 22 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日
手 塚 秀 樹	自平成 24 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日
松 本 幸 男	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日
川 島 金 治	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 30 年 4 月 1 日
長 谷 川 修	自平成 30 年 4 月 2 日
	至令和 2 年 4 月 1 日
小 宮 山 泉	自令和 2 年 4 月 2 日
	至令和 4 年 4 月 1 日
宮 下 喜 幸	自令和 4 年 4 月 2 日
	至令和 6 年 4 月 1 日
中 嶋 幸 人	自令和 6 年 4 月 2 日
	～ 現 在

消防副団長

◆千曲市

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
岡 田 忠 行	自平成 16 年 4 月 2 日	宮 原 辰 美	自平成 27 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至平成 29 年 4 月 1 日
臼 井 満 芳	自平成 16 年 4 月 2 日	宮 森 文 男	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至平成 30 年 4 月 1 日
渡 島 港 一	自平成 16 年 4 月 2 日	武 井 郁 郎	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至平成 30 年 4 月 1 日
島 田 久 敏	自平成 18 年 4 月 2 日	岡 田 正	自平成 29 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日		至令和 3 年 4 月 1 日
北 村 嘉 照	自平成 18 年 4 月 2 日	山 崎 亜 成	自平成 30 年 4 月 2 日
	至平成 21 年 4 月 1 日		至令和 2 年 4 月 1 日
横 山 征 之	自平成 18 年 4 月 2 日	瀬 在 順 一	自平成 30 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日		至令和 2 年 4 月 1 日
塚 田 昌 平	自平成 20 年 4 月 2 日	中 村 幸 正	自令和 2 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日		至令和 4 年 4 月 1 日
坂 口 徹 雄	自平成 21 年 4 月 2 日	宮 原 雅 彦	自令和 2 年 4 月 2 日
	至平成 25 年 4 月 1 日		至令和 4 年 4 月 1 日
亘 健 二	自平成 22 年 4 月 2 日	小宮山 敦史	自令和 3 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日		至令和 5 年 4 月 1 日
林 幸 彦	自平成 22 年 4 月 2 日	宮 嶋 尚 人	自令和 4 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日		至令和 6 年 4 月 1 日
藤 澤 公 二	自平成 24 年 4 月 2 日	久 保 益 利	自令和 4 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日		至令和 6 年 4 月 1 日
宮 入 義 徳	自平成 24 年 4 月 2 日	中曾根 昌彦	自令和 5 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日		至令和 7 年 4 月 1 日
西 澤 誠 二	自平成 25 年 4 月 2 日	宮 原 清 雄	自令和 6 年 4 月 2 日
	至平成 27 年 4 月 1 日		～ 現 在
福 島 幸 久	自平成 26 年 4 月 2 日	北 澤 秀 一	自令和 6 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日		～ 現 在
湯 井 勉	自平成 26 年 4 月 2 日	篠 原 秀 司	自令和 7 年 4 月 2 日
	至平成 28 年 4 月 1 日		～ 現 在

消防副団長

◆坂城町

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
竹内 今朝通	自平成 14 年 4 月 2 日	鈴木 清	自平成 26 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日		至平成 28 年 4 月 1 日
塩入 今朝文	自平成 14 年 4 月 2 日	長谷川 修	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 16 年 4 月 1 日		至平成 30 年 4 月 1 日
荒井 一郎	自平成 16 年 4 月 2 日	小宮山 泉	自平成 28 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至平成 30 年 4 月 1 日
山崎 勉	自平成 16 年 4 月 2 日	鈴木 忠	自平成 30 年 4 月 2 日
	至平成 18 年 4 月 1 日		至令和 2 年 4 月 1 日
松本 幸男	自平成 18 年 4 月 2 日	宮下 喜幸	自平成 30 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日		至令和 2 年 4 月 1 日
川島 金治	自平成 18 年 4 月 2 日	宮入 健誠	自令和 2 年 4 月 2 日
	至平成 20 年 4 月 1 日		至令和 4 年 4 月 1 日
村田 健二	自平成 20 年 4 月 2 日	中嶋 幸人	自令和 2 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日		至令和 4 年 4 月 1 日
竹内 敏正	自平成 20 年 4 月 2 日	池田美智康	自令和 4 年 4 月 2 日
	至平成 22 年 4 月 1 日		至令和 6 年 4 月 1 日
手塚 秀樹	自平成 22 年 4 月 2 日	飯島 裕一	自令和 4 年 4 月 2 日
	至平成 24 年 4 月 1 日		至令和 6 年 4 月 1 日
深井 幸年	自平成 22 年 4 月 2 日	春日 慶一	自令和 6 年 4 月 2 日
	至平成 25 年 12 月 31 日		～ 現在
大井 義明	自平成 24 年 4 月 2 日	下鳥 進	自令和 6 年 4 月 2 日
	至平成 26 年 4 月 1 日		～ 現在
今井 正人	自平成 26 年 4 月 2 日		
	至平成 28 年 4 月 1 日		

◆会長

氏 名	在職期間
荻 原 光 太 郎	自平成 15 年 10 月 29 日
	至平成 17 年 5 月 16 日
宮 本 健 二	自平成 17 年 5 月 16 日
	至平成 19 年 5 月 11 日
田 島 光 雄	自平成 19 年 5 月 11 日
	至平成 29 年 5 月 17 日
柳 澤 謙 二	自平成 29 年 5 月 17 日
	～ 現 在

◆副会長

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
宮 本 健 二	自平成 15 年 10 月 29 日	小 平 和 正	自平成 29 年 5 月 17 日
	至平成 17 年 5 月 16 日		至令和 7 年 5 月 16 日
中 村 明 文	自平成 15 年 10 月 29 日	峯 村 崇	自令和 2 年 6 月 5 日
	至平成 17 年 5 月 16 日		～ 現 在
田 島 光 雄	自平成 17 年 5 月 16 日	宮 川 学	自令和 7 年 5 月 16 日
	至平成 19 年 5 月 11 日		～ 現 在
若 林 俊 樹	自平成 17 年 5 月 16 日		
	至平成 29 年 5 月 17 日		
藤 井 幹 男	自平成 19 年 5 月 11 日		
	至平成 26 年 3 月 6 日		
柳 澤 謙 二	自平成 26 年 3 月 6 日		
	至平成 29 年 5 月 17 日		
松 岡 行 久	自平成 29 年 5 月 17 日		
	至令和 2 年 4 月 11 日		

消防年報
2025
令和 7 年 9 月 発行



発行：千曲坂城消防組合
〒389-0806
長野県千曲市大字磯部 1221 番地
TEL：026-276-0119
FAX：026-276-9119
E-mail：chikumasakaki@fdcs.or.jp